



地方通信

東 北 方 面

古川町第二期

舗装工事着手

古川町第二期アスファルト舗装工事は、日本石油會社道路部請負工事に着手し、従業者二百餘人作業中。

石巻町東西内海橋の危険

石巻町北上川に架する東西内海橋は縣下第一の交通繁劇なる橋梁なれば、近く鐵筋

コンクリートに架け替の豫定なるも、最近自動車荷馬車等頻繁な交通に動搖甚しく、

また北上川上下航の船舶も橋桁に衝突一層の動搖を來し、危険多く爲に石巻土木工區は潜水夫をして橋脚の根本検査を實施せしに、東西兩橋共に橋脚は無數の微生物の爲腐蝕せるに加へ、重量の爲橋脚減入の結果橋脚と橋板との間は、一寸づゝの空隙を生じ、根元のコンクリートも亦龜裂せる等危険なるを以て町當局に於ても、調査の結果を聴取し縣へ架換への促進を迫るに至るべしと。

地方通信

東 海 方 面

岩倉新道路漸く具體化

愛知縣丹羽郡岩倉町が計畫中の各大字村への主要道路の、分割新設案は漸く具體化したので、同町では促進委員を設け、地主及び小作人の各關係者と折衝を重ねることになった。

北 越 方 面

神取北上川渡船場

架橋促進運動

宮城縣桃生郡中津山神取北上川渡船場の架橋問題は地元中津山村民は一時期成同盟會まで組織し、其後西條村長は促進運動の爲めあらゆる犠牲を惜しまず奮起し、縣知事土木課長もまた現状の不便を察知して、出來得る限りの便宜を與へ、漸く曙光を認

むるやうになつた。矢先今回の緊縮に引つかつたため、三度前途に不安を認むるやうになり、地方民も總工費拾參萬圓の内三分の一は、地元寄附をするまで意氣込んだ甲斐もなく、停頓挫折したことを非常に遺憾がつてゐるが、如何に緊縮なればとてこればかりは放置することなく、將來如何なる難礁が横たはるとも、目的貫徹のために緊禪一番するとまで申合せたので、近く四度の運動を試みんと意氣込んでゐる。

刈羽の僻村へ道路を開鑿

民政黨刈羽クラブでは山間の僻村は人文の開發も遅れると同時に、物質の需供に至大の不便を感じるに加へ、人口稀薄によつて過重な負擔を背負はねばならぬといふ實狀に鑑み、開發に努むることを急務とし、腐心の結果高柳村栃ヶ原の如き交通不便で村道の開鑿を必要とし、縣當局に諒解を求め、測量中のところ完了し、また郡内の離

れ島ともいはれてゐる横山澤村も交通の便を開かねばならぬとし、現在縣道である石曾根小千谷線の改修をなすか、またはこの線の一部變更して村内芝の又から中鱒村久木太に新路線を開鑿するか、目下その利害を調査中である。

近畿方面

神明國道の改修

竣工を明年に延期

神明國道の改修は既に大部分は竣工し、残つてゐるのは明石大藏谷以西と鹽屋の省線踏切附近との一部分で之も大藏谷以西は既に土地買収も參事會で、可決されたので問題は無いが鹽谷の省線踏切附近は宇治電の線路を現在線の北側山の上に變更し、省線は復々線にし、國道はその省線の上を跨線橋にするなど鐵道省との關係もあるのが、最も難工事とされ、果して本年度に於

て工事に着手し得るや否や疑問とされてゐたが、鐵道省では改良費が削減されたため、愈々明年度に繰延べに決定したので、縣でも該國道は本年度が完成年度に拘らず、明年度に繰延べることと決定した。

兵庫縣本年度

實行豫算査定

兵庫縣の本年度實行豫算査定は去月三十日午後一時から議事堂で開會、土木部所管について審議を進めた。昭和二年以來縣の豫算が著しい膨脹を示したのは主として土木關係の事業の爲であるから、これに思ひ切つた大斧鉞を加へぬ限り到底大袈裟な削減を望むことはできぬ事情があるので相當思ひ切つたことをやるらしい。先づ第一に槍玉に揚げられるのは國府縣道改良費百八十萬圓は三十萬圓程度に、神明國道改修費は工事進行が遅れるため七十萬圓位は繰延べることが出來やう。

壇之浦國道敷地買収解決

下關市唐戸壇の浦間國道改修用地買収の難件は、二日夜殆ど完全に解決、四十八件中十四件は縣當事者に對し、承諾書調印済となり、殘る所は二名の分だけとなり、一方製氷會社敷地跡に代理を希望する十九名に對する用地三百九坪は坪八十圓にて譲渡の交渉會社との間成立せり。

姫路國道改修

明石市美嚨郡三木町間縣道の内明石市嘉永橋から農事試驗場に至る大改修は市に於て、工費の内六千圓負擔の件市會の決議を経たるも、縣は緊縮の爲右工事取止を決定市に通知し來れり、一方過日内務省の認可を経たる神姫國道新設工事は明石より始め本年度より着工せらるべく、従つて現に工事中なる神明國道の明石市上水町以西の分に對し、施工のこととなる、この工費中市

の負擔は八千圓なりと。

土木費削減額

三百萬圓に達せん

國府縣道改良費百八十萬圓は六十萬圓程に神明國道改修費は、工事遅延の爲七十萬圓程度繰延得べく、西宮築港は百二十萬圓の起債不許可の爲打切りとなるべく諸家の築港は總經費の十分の四を地元が負擔することに成り、その費用を公債に俟つことゝなれるを以て、これ亦政府の許可六ヶ敷かるべく總額二百五十萬圓乃至三百萬圓程の削減額に達するならん。

中國方面

廣島御幸橋架替工事問題

廣島市千田町御幸橋架替工事は、昨年度通常縣會で四十二萬圓の經費を以て、本年度から實施することに決定し、既に假橋も

出來上つたが、折柄政府の緊縮政策で此架替費にまで節約すべき旨通牒あり、縣では種々考究の結果電車併用橋として、幅員十三間半の設計を最少限度の九間に縮小して經費を節約することになつた。

九州方面

稻吉橋架換工事竣工近し

福岡縣三井郡御原村稻吉橋架け替は豫算七千圓餘にて幅員九尺長さ廿六間、コンクリートにて着々進捗橋臺は完成したので、竣工も目睫に迫つてゐる。完成の曉は鳥栖田代方面への交通開拓され、町村事業としては稀に見る立派なものである。

大牟田市と道路愛護デー

福岡縣大牟田市では十月三月の道路愛護デーに對しては各團體及個人的にも道路愛護思想の普及を計る事となり、各區長に對

し當日は各區間内の各團體及區民は、一齊に道路の社會奉仕の作業を獎勵する様通達する事となつたが、奉仕作業としては道路兩側耳切り雜草除去道路面の小修繕其他で各自の村に於いても、道路變護觀念の普及運動及奉仕作業をなす計畫である。

大牟田瀨高間縣道更正

福岡縣大牟田市山門郡瀨高間の幅員五間五分の重要縣道更正に就き、大牟田市では昨年壹萬圓の寄附金を市會で決議し、豫算に計上してあるが、銀水村の如き割合からみれば三萬餘圓の負擔となり、其他二川村岩田村でも負擔金が過重であるといふので縣に之が輕減方を要望する筈で豫定通りの進展を見なかつたが最近に至り、銀水村でも乘氣になり、既に昭和四年度負擔金として五千圓を計上し賛成の意志表示をなし、二川村では渡瀬町を通過すれば、負擔金を承認すると軟化し岩田村のみが西端を通過

する爲恩恵が少いので、負擔金を輕減して貰ひ度いと主張してゐるのみで、最近頗る好轉を見せてゐる。該縣道は既に大牟田市東新町から銀水村銀水驛間の實施設計は終了してゐるが、從來の設計に依れば、銀水村甘木に於て省線と交叉し高架橋を設くる事となつてゐたが、同所は地盤軟弱で高架橋が困難であるといふので交叉點を現在の箇所から三町北方に變更し、三池農學校西側で交叉する事に變更したので、之れに伴ひ渡瀬甘木間の計劃線を變更することゝなつた。

道路鋪裝工事

福岡縣大牟田市五月橋から驛前の本通りは、昨年鋪裝工事を施し、市街美を備へたが驛前から不知火北町三又路間約二百五十間の本通りは、沿道市民の負擔金等の事情で鋪裝工事を實施するに至らなかつたが、之れがため市内唯一の繁華な目抜通りの市街

美を毀損する事著るしいので、先頃から有志が鋪裝工事を實施すべく奔走中であつたか、最近に至り俄に具體化し來つたので、近く開かるゝ縣會に提出すべく工費其他負擔金等に就き調査中の所、此程終了したが、該設計豫算書に依れば鋪裝法は驛前五月橋間と同様、工費は一萬九千圓内外を要する見込であるが、縣會さへ通過すれば略沿道市民との諒解もできてゐるので、案外早く實施する模様である。

◇ × × ◇

◇ × × ◇